

登録番号	演題番号	筆頭演者	演題名
10000	P3-1	松本一記	通常治療と比較した強迫症のガイド付きインターネット認知行動療法の有効性：多施設ランダム化比較試験
10001	P1-1	櫻井準	物質使用障害を有する若年者における、不安症の簡易スクリーニング法の検証
10002	P1-2	大井一高	精神疾患のポリジェニックリスクスコアは小児期の睡眠障害に寄与する：ABCD研究
10003	P1-3	岡村泰	精神病性障害を併存する強迫性障害患者の臨床的特徴
10004	P4-1	向井馨一郎	高齢者の母親への巻き込み行為を伴うCOVID-19への感染をテーマとした強迫症の1例
10005	P5-1	加藤研太	ためこみ症の安静時脳活動
10006	P7-1	日下桜子	メンタルヘルスに関する保護者の理解の向上を目指した教育の効果検証のシステマティックレビュー
10007	P6-1	三宅美奈	一般成人の不安に対する小児期の養育体験、神経症傾向、ライフイベントの影響
10008	P6-2	周瑞	中高生における精神病様体験と希死念慮・自傷行為の縦断的関連性
10009	P8-1	高橋稔	アイトラッキングを用いたエクスポージャー中における視覚的注意の検討
10010	P3-2	福井至	VRエクスポージャーに適した質問紙-1.ADIS-5
10011	P6-3	高塩理	不安症状やうつ症状と不眠に関するメンタルヘルス研究
10012	P3-3	野口陽南	VRエクスポージャーに適した質問紙-2.SMSP
10013	P9-1	山崎万有奈	オピオイド受容体作動薬は代理社会的敗北ストレスモデルにおける過敏性腸症候群様症状を改善する
10014	P2-1	正木美奈	長期通院中のパニック症の特徴
10015	P9-2	橋本久美	人狼ゲームにおける虚偽発言時の脳波について—不安の有無による影響—
10016	P9-3	渡邊美紀子	スピーチ課題のVRエクスポージャーと現実エクスポージャーによる社交不安関連尺度に関する比較
10017	P7-2	湯川充佑子	子どもの自己統制力を育む学校における教育プログラムに関する文献レビュー
10018	P3-4	平川沙織	不安症患者を対象としたVRエクスポージャーの試み—VRは行動実験の代替となり得るか
10019	P1-4	有光興記	不安症および関連症群面接マニュアル(ADIS-5)の概要と使用事例について
10020	P3-5	藤井智賀	雷恐怖症に対するVRエクスポージャーの効果
10024	P6-4	岡島義	医療従事者におけるCOVID-19感染への不安が、睡眠問題、および不安・抑うつ症状に及ぼす影響
10025	P9-5	青木裕見	ベンゾジアゼピン系抗不安薬の継続・中止を共同意思決定で決めるためのDecision Aidの開発
10026	P9-4	山田大輔	δオピオイド受容体作動薬による恐怖記憶の消去促進とその作用脳部位・分子メカニズムの検討
10027	P1-5	早坂友成	不安症が併存した難治性うつ病の特性—作業療法による行動評価の活用
10028	P4-2	恩田翔平	激越型うつ病の不安焦燥に対し、電気けいれん療法が著効した経験
10030	P4-3	佐藤有輝人	胸郭変形と気管軟化症による気道狭窄でパニック様発作を呈したMarfan症候群の一例
10031	P3-6	福井健人	苦手克服VRTレーニングシステムNaReRuの運用と実態・不安症領域でのVR活用可能性に対する考察
10032	P9-6	山田和夫	不安症の発見と治療：S.フロイトの病跡から
10033	P5-2	佐々木翼	閾値下社交不安の安静時脳機能結合に対する探索的検討
10034	P8-2	柳田綾香	社交不安者における心的視点と視線の関連性
10035	P8-3	倉重乾	社交不安症状と喜び表情・怒り表情の探索行動の関連—オンライン視覚探索課題を用いた実験—
10036	P6-5	音羽健司	日本人産業集団を対象とした遺伝的リスクスコアを用いた不安・うつ状態の予測
10037	P9-7	山口慶子	不安に対する曝露療法の研究動向：Structural Topic Modelによるアブストラクト解析
10038	P1-6	野田昇太	不安・抑うつ発作の精神病理—拒絶過敏性と反芻思考
10039	P3-7	陳冲	ポジティブな記憶想起が不確実性下の意思決定に及ぼす影響：不安症における意思決定障害への潜在的改善効果
10040	P8-4	横川翔五	成人期ADHDにおける不安症状
10041	P7-3	山口智史	高校生向け精神保健教育プログラムの男女における効果の違いの検討
10042	P9-8	前田駿太	社交不安症状がPost-Event Processingと飲酒動機を介して飲酒量に及ぼす影響
10043	P7-4	西田明日香	中高生における相談相手の数と精神的健康との関連とその性差の検討
10044	P4-4	吉村匡史	中年期に顕在化した性格・行動の変化に伴い、強い不安と焦燥感を示す一症例
10045	P9-9	瀧井美緒	COVID-19感染拡大下における子育ての困難感と育児不安の関連
10046	P7-5	本多正理佳	思春期の不安・抑うつとソーシャルメディアの利用に関するシステマティックレビュー
10047	P4-5	吉田賀一	心的外傷体験が関連した強迫症状を有する強迫症患者に対する認知行動療法が奏功した1症例
10051	P8-5	沼田恵太郎	条件づけによる不安・恐怖の評価—八木・宮田パラダイム—
10052	P8-6	遠藤奏夏	電話恐怖尺度の開発と妥当性の検証—大学生を対象にした予備的研究—